

## 東京オリンピックとインフラ整備

神 雄基

### 目次

第1章	1964年東京オリンピックの競技会場	1
第2章	1964年東京オリンピック開催に向けてのインフラ整備	4
第2章第1節	放射状線道路	4
第2章第1節第1項	国道246号線	4
第2章第1節第2項	六本木通り	5
第2章第1節第3項	都道413号線	5
第2章第2節	環状線道路	5
第2章第2節第1項	環状2号線	5
第2章第2節第2項	環状3号線	5
第2章第2節第3項	環状4号線	6
第2章第2節第4項	環状5号線	6
第2章第2節第5項	環状6号線	6
第2章第2節第6項	環状7号線	7
第2章第2節第7項	環状8号線	7
第2章第3節	1964年東京オリンピック開催に向けてのインフラ整備の評価	7
第3章	2020年東京オリンピックの競技会場	8
第4章	2020年東京オリンピック開催に向けてのインフラ整備	12

### 第1章 1964年東京オリンピックの競技会場

1964年に開催された東京オリンピックの競技会場はつぎの通りである。

国立霞ヶ丘陸上競技場は、メイン開場として、開閉会式、陸上競技（マラソンと50km競歩は甲州街道折り返しコース、20km競歩は明治神宮聖徳記念絵画館周回コースをいずれも競技場発着として使用）、サッカー、馬術に使用された。国立霞ヶ丘陸上競技場は、東京都新宿区霞ヶ丘町10番2号に所在し、1924年に明治神宮外苑競技場として建設され、1958年アジア競技大会と国民体育大会の会場となり、1957年1月に起工し、アジア大会前の1958年3月に竣工した。フィールドは国産アンツーカが利用された。同年アジア大会を開催し、翌1959年には東京国体のメインスタジアムとして陸上競技が開催された。その後

1964年(昭和39年)に開催された東京オリンピックのメインスタジアムとして使用されることとなり、これにあわせてスタンドの増築が行われた(拡充費用は11億7800万円)。

東京都体育館(東京都体育館屋内水泳場)は、東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目にある体育館である。1953年2月、東京都は渋谷区千駄ヶ谷にあった旧・葵会館の跡地に新しく都立体育館を建設すると発表し、1954年4月、総工費3億5千万円(当時の価格)にて東京都体育館が完成させる。1958年5月24日・6月1日、アジア競技大会(アジア・オリンピック)の会場として使用された。1964年10月10日・24日、メインアリーナが東京オリンピックの体操競技、プールが水球競技の会場として使用された。

秩父宮ラグビー場は、東京・明治神宮外苑(港区北青山)にあるラグビー専用競技場であり、独立行政法人日本スポーツ振興センターによって運営される国立霞ヶ丘競技場の一施設である。施設は、1964年の東京オリンピックでは、サッカー競技の会場として利用された。

国立屋内総合競技場本館<国立代々木競技場第一体育館>、国立屋内総合競技場別館<国立代々木競技場第二体育館>は、1964年の東京オリンピックの開催に備えて建設され、同大会のサブ会場として使用されたもので、メインアリーナとなる第一体育館(本館、または「代々木オリンピックプール」ともいう)では競泳競技が、第二体育館(別館)ではバスケットボール競技が開かれた。建設地にはそれまで占領アメリカ軍施設・ワシントンハイツがあり、アメリカ軍との返還交渉の難航などから工事着工はオリンピック前年の1963年2月と遅れた。その結果、竣工は東京オリンピック開幕のわずか39日前までずれこみ、1964年7月以降は昼夜関係なく24時間体勢で建設が進められた。

渋谷公会堂は、開業当初の1964年には、東京オリンピックの重量挙げ競技の会場として使用され、施設内には「東京オリンピックメモリアルプレート」が設置されていた。

駒沢陸上競技場は、プロ野球・東映フライヤーズ(現・北海道日本ハムファイターズ)のフランチャイズとして1953年に建設された駒澤野球場を解体整地して、1964年の東京オリンピックの開催のため誕生し、国立霞ヶ丘陸上競技場と並ぶ中心的な会場として利用された。なお、実現していれば1940年の東京オリンピックのメイン会場になる予定だった。ラグビーフットボールの試合や関東学生アメリカンフットボールリーグ戦の試合も年間数試合程度が行われている。

駒沢オリンピック公園総合運動場体育館は、1964年の東京オリンピックで、レスリング競技の会場となった。

後樂園アイスパレスは、1964年東京オリンピックにおいてボクシング競技会場として使用され、1994年に閉鎖されている。

早稲田大学記念会堂は、早稲田大学戸山キャンパスにあり、1957年に早稲田大学の創立75周年を記念して建設された体育館で、東京オリンピックのフェンシングが開催された。

日本武道館は、1964年開催の東京オリンピックの柔道競技会場として建設され、同年10月3日に開館した。日本武道館の建設は国会決議で承認されたものの、東京オリンピック組

織委員会は柔道競技が水泳の後に行うため、代々木に建設中の屋内水泳場を兼用し、プールに板を敷き柔道場を作る計画を持っていたが、1963年7月によりやく日本武道館の建設の運びとなった。

馬事公苑は、東京都世田谷区上用賀にある公園。日本中央競馬会（JRA）が運営する馬事普及の拠点である。1940年の第12回東京オリンピックに向けて日本の馬術選手を育成する目的で開設された。馬事公苑は、馬事関係の多方面の利用と馬事思想の普及を図る公共施設として、馬術競技場、馬匹博覧会等の会場、競技馬の調教場、乗馬趣味の涵養のための乗馬機会の提供場所、競馬騎手講習会場に利用されるものとして設置された。

八王子自転車競技場は、1964年の東京オリンピック開催にあたり、自転車競技トラックレースの会場として、当初は芝浦に新設する案、あるいは、既設の後楽園競輪場を使用する案などが議論されていたが、1961年、八王子市に36kmのロードレース周回コースを設けることが決定したため、自転車競技場も同市長房町に建設されることが決まった。1周は400m、最大カント45°、収容人員は約4100名で約1億5千万円(当時)をかけてオリンピック開催直前の1964年8月に完成。但し、東京オリンピックの開催終了後、取り壊しの条件がついた仮設競技場だった。

横浜文化体育館は、1962年5月23日に開館した。関内駅・伊勢佐木長者町駅に近く、卓球大会・プロレス・ボクシング・ボリショイサーカスなど、さまざまな用途で使われている。1964年の東京オリンピックにおけるバレーボール競技は、駒沢オリンピック公園総合運動場体育館と横浜文化体育館の2会場に分かれて行われた。

三ツ沢蹴球場は、神奈川県横浜市神奈川区の三ツ沢公園内にある球技場である。横浜市の中心市街地を見下ろす丘陵地に整備された緑地・運動公園の一部となっている。三ツ沢球技場は1955年の第10回国民体育大会（神奈川国体）に備えて、日本におけるサッカー専用スタジアムのはしりとして建設され、1964年の東京オリンピックにおけるサッカー競技の会場としても使用された。

相模湖は、横浜市・川崎市・相模原市などへの上水道、京浜工業地帯への工業用水、及び水力発電、洪水調節、灌漑用水、レジャーに利用されている。一部東京都に飲料水が分水されることもある。1964年に開催された東京オリンピックの際、カヌー競技会場となった。

湘南港は、1964年の東京オリンピックのヨット競技場として整備された。

朝霞射撃場は、東京オリンピックのライフル射撃会場として、埼玉県北足立郡朝霞町（現・朝霞市）にある陸上自衛隊の朝霞駐屯地内に設置された。現在でも、自衛隊体育学校や日本ライフル射撃協会によって使用され、2020年の東京オリンピック・パラリンピック招致プランでもライフル射撃会場として使用される予定である。

戸田漕艇場は、埼玉県戸田市の戸田公園内にあるボート競技コースである。別名「戸田ボートコース」と呼ばれ、ナショナルトレーニングセンターボート強化拠点施設に指定されている。1937年（昭和12年）、東京オリンピック（1940）のボート競技会場、および、荒川の治水対策のために建設開始された。しかし、日中戦争（支那事変）の激化を理由に同オリ

ンピックの開催権を日本が返上したため、同オリンピックでの使用はなくなった。ただし治水対策の面もあったため、建設工事は規模を縮小しながらも続けられ、1940年(昭和15年)に完成した。1964年開催の東京オリンピックの会場となったため、拡幅工事や周辺整備をした。隣接する道路にはオリンピック通りという名前がつけられている。

大宮蹴球場は、埼玉県さいたま市大宮区の大宮公園内にあるサッカー専用の球技場である。1960年4月9日、当時の大宮市に埼玉県営大宮公園サッカー場として開場。日本初のサッカー専用球技場で、現存するものとしては国内最古といわれる。1962年の11月に1964年東京オリンピックサッカー競技の会場の一つとして使用されることが決定し、これに伴い、総工費1億9500万円(当時)を投じてスタンドを設置した。

所沢クレー射撃場は、当初、クレー射撃に関してもライフル射撃と同じ朝霞に設置される予定だったが、敷地が手狭だったことから埼玉県所沢市に別設された。オリンピック終了後の1973年には射撃場は閉鎖され、県立高校などの敷地として転用され、跡地には東京オリンピックの会場であったことを示す記念碑が残されている。

東京大学検見川総合運動場は、1964年東京オリンピックでは近代五種のうちクロスカントリーのコースとして使用された。

軽井沢馬術場は、1964年の東京オリンピックで総合馬術競技は東京から最も離れた長野県北佐久郡軽井沢町で開催された。競技場と同じ敷地には1998年の長野冬季オリンピックのカーリング会場が建設され、軽井沢は世界でも珍しい夏・冬両方のオリンピック競技を開催した街となった。現在では運動公園として整備され、2大会それぞれの聖火台や資料館などが設置されている。

## 第2章 1964年東京オリンピック開催に向けてのインフラ整備

1964年東京オリンピックの時点では、東京都の道路が未整備であった。そこで、1964年東京オリンピックに向けて、第1章で紹介した競技場を結ぶために、放射状線道路(のうちの国道246号線、六本木通り、および、都道413号線)、環状線道路(のうちの環状2号線、環状3号線、環状4号線および環状7号線)、首都高速道路を整備・新設した。

### 第2章第1節 放射状線道路

メイン会場である神宮地区と駒沢地区を結ぶ放射4号線、つまり国道246整備は急務であった。

#### 第2章第1節第1項 国道246号線

国道246号のうち、渋谷ー赤坂見附間を青山通りと称し、同じ国道246号でも渋谷から駒沢方面の世田谷区二子橋までは玉川通りと移動した。国道246号線は、直轄国道になった1965年(昭和40年)頃より、輻輳が激しく改修の余地の小さい国道1号のバイパス路線として注目され、重点的に整備が進められた。国道指定と同時期に多摩田園都市の開発が始ま

り、沿線は急速に宅地化され、交通量が増大した。そのため、1974年（昭和49年）以降東京・横浜バイパスが建設されている。なお、東京・横浜バイパスとして整備された区間はその後国道の本道に指定され、旧道は指定解除を受けている。

#### 第2章第1節第2項 六本木通り

六本木通りは、東京都千代田区と渋谷区を結ぶ特例都道である。1964年（昭和39年）に開催された東京オリンピックを前にして整備された道路である。

#### 第2章第1節第3項 都道413号線

都道413号線は、東京都港区と杉並区とを結ぶ特例都道である。都道413号線は、交通量が少なくないながらも立体交差があまり整備されていないので、多くの交差点でボトルネック渋滞となっている。乃木坂陸橋交差点から山王下交差点までが赤坂通り、表参道交差点から根津美術館前（旧：南青山四丁目）交差点までがみゆき（御幸）通り、表参道交差点（青山通り）から明治神宮・原宿駅付近にかけてが表参道、代々木公園交番前交差点から環八井の頭交差点（終点）までが、井之頭通りと呼ばれている。

#### 第2章第2節 環状線道路

1964年東京オリンピックに向けて、東京の環状線道路のうちの環状2号線、環状3号線、環状4号線および環状7号線を整備・新設した。

#### 第2章第2節第1項 環状2号線

環状2号線（東京都市計画道路幹線街路環状第2号線）とは、通称は外堀通りと呼ばれている。環状2号線は、東京都江東区有明2丁目から港区新橋、新宿区四谷を経由し千代田区神田佐久間町1丁目に至る都市計画道路である。江東区有明2丁目から豊洲6丁目までの区間、港区新橋4丁目から虎ノ門2丁目までの地下トンネル区間、新橋4丁目から虎ノ門1丁目までの地上街路（愛称：新虎通り）区間、虎ノ門2丁目の特許庁前から終点の千代田区神田佐久間町1丁目までの外堀通りに続く。江東区豊洲から港区新橋までの区間が事業中である。中央区築地から虎ノ門までの地下トンネルの名称は「築地虎ノ門トンネル」である。2014年4月1日、築地虎ノ門トンネルを含む有明-虎ノ門間の通称が「環二通り」と定められた。

#### 第2章第2節第2項 環状3号線

環状3号線は、東京都市計画道路幹線街路環状第3号線の一部区間の通称である。1923年に発生した関東大震災後、1297年の東京市の震災復興計画での街路計画をもとに、第二次世界大戦後に東京都の戦災復興計画で計画決定された「東京都市計画道路幹線街路環状第3号線」は、資金難で一部区間のみ開通した。一般には、外苑東通り・播磨坂・言問通り・

三ツ目通りと呼ばれる東京都の通称道路名が環状3号線に相当する。播磨坂は、文京区小石川にある環状3号線の一部で「環3通り桜並木」の一般的な呼び名である。

六本木付近では東京オリンピックを契機とする道路建設において、既存道路との交差点にトンネルが設けられるなど、将来の開通を見越した工事が行われた。また、文京区では「播磨坂」として一部区間が開通している。東京では1923年（大正12年）の関東大震災後の復興のため、1927年（昭和2年）に東京駅を中心に半径約10マイル（16キロメートル）の範囲に、1号から8号までの環状道路と放射状の道路を配置する道路整備計画がたてられた。環状第1号線から環状第6号線までの6本の道路は、既存の道路を利用して環状につながるために必要な部分だけ道路を新設する計画であった。この計画に基づき都心部の環状道路の整備が始められていったが、太平洋戦争がはじまり戦時下となると、戦争が最優先事項となったため道路整備計画は棚上げとなった。終戦後まもなく、東京の戦後復興計画として道路整備が区画整備と一体的となって再開されるものの、整備するために必要な予算が不足し、あちこちの区間で用地買収や立ち退き交渉が暗礁に乗り上がるなどが原因で、道播磨坂などの部分的で区間が短い道路整備しか行われなかったため道路はつながらず、道路全体の構成は分断された環状通りとは言い難い状況となっており、1964年の東京オリンピックに向けて、十分な整備ができなかった。

#### 第2章第2節第3項 環状4号線

環状4号線は、東京都港区から東京都江東区に至る環状の都市計画道路である。計画延長は約29kmで、そのうち約半分の約15kmしか完成しておらず、未だ現道がない区間も多い。環状4号線の名はあまり知られておらず、一般には外苑西通りや不忍通りなどの東京都の道路通称道路名が知られている。

#### 第2章第2節第4項 環状5号線

環状5号線は、大部分が明治通りと重複するが、池袋や新宿の繁華街をバイパスする部分（どちらも一部未開通）が異なる（開通後に「明治通り」の名前が冠されるかどうかは不明で、一部開通している部分の中にはすでに「御苑通り」の通称がつけられている箇所もある）。また、環5ノ2のうち北区王子の王子3丁目交差点から北区豊島の溝田橋交差点の区間は明治通りから外れている。環5ノ1には支線1～支線3があるが、環5ノ1支1は新宿駅の東側にアクセスする道路で、明治通りと重複する。東京の環状道路として最初に整備された明治通り（環状5号線）は、都市計画に基づく道路整備中に太平洋戦争が始まったため、整備が一時棚上げ状態となったが、終戦後は復興のため区画整備と一体となって再開された。

#### 第2章第2節第5項 環状6号線

環状6号線は、東京都品川区から、板橋区に至る主要地方道（都道）である。この道路は、通称山手通り（一部区間は「旧山手通り」および「海岸通り」）と呼ばれる。品川区東品川

から板橋区仲宿までの全区間(支線を除く)が都市計画道路として東京都市計画道路幹線街路環状6号線に指定されている。環状第5号線(明治通り)や環状第7号線(環七通り)が都内をほぼ一周するのに対し、環状第6号線である山手通りは都心の西側にしか存在しないが、戦前の計画では幹線環状道路第六号其の一とされており、其の二として足立区千住宮元町交差点から城東区南砂町(現・江東区南砂)までが指定されていた(一部は放射14号線(蔵前橋通り)と重複)。現在は東京都市計画道路補助119号線(墨堤通り)、補助120号線、放射14号線(蔵前橋通り)、環状第4号線(丸八通り)として指定されている。

### 第2章第2節第6項 環状7号線

環状7号線は、東京都大田区平和島を基点に、世田谷区、杉並区、練馬区、北区、足立区、葛飾区などを経由して江戸川区臨海町に至る、主要地方道(都道)である。1964年(昭和39年)の東京オリンピック開催のためのオリンピック道路としての整備が行われた。東京オリンピックの開会式が開かれる駒沢競技場や、戸田漕艇場と羽田空港とを結ぶ主要道路となることから、その招致活動に合わせて新神谷橋(北区と足立区の境)までの工事が急がれることとなった。この区間は東京オリンピックが開催された1964年(昭和39年)までに開通している。これより東側の鹿浜橋(足立区)から東の区間は、東京オリンピック後の供用開始となった。1985年(昭和60年)1月に最後まで残っていた葛飾区青戸八丁目から奥戸陸橋までの区間(京成本線との立体交差の関係で工期が延びたため)が供用開始されたことで全線開通となった。最初の構想から58年かかったことになる。総工費は用地取得費の増大と工事の遅れによりおよそ1兆2,000億円になった。

### 第2章第2節第7項 環状8号線

環状8号線は、東京都大田区羽田空港から、世田谷区、杉並区、練馬区、板橋区を経由して東京都北区赤羽に至る環状の都道(主要地方道)である。この道路は一般に「環状八号線」「環八通り(かんぱちどおり)」「環八」と呼ばれる。戦後に入り、改めて都市計画決定されたのは、1946年(昭和21年)3月の「戦災地復興計画方針」においてである。しかし、その後も瀬田交差点(世田谷区)を挟むわずかな区間の既存の道路が拡幅された程度で、実際に本格的に着工されたのはそれから10年後の1956年(昭和31年)、着工後も実際の施工は遅々として進まなかった。同時期に構想・計画された環七通りや産業道路が1964年(昭和39年)の東京オリンピック関連工事とされて速やかに着工されたのに比べると、当時の沿線は未だ高速道路はおろか多摩川を渡る橋さえも少なく、交通需要が小さかったため後回しとされたのである。

### 第2章第3節 1964年東京オリンピック開催に向けてのインフラ整備の評価

ここで、1964年東京オリンピック開催に向けてのインフラ整備は、とくに環状線道路は1964年までに完成しなかった箇所は、2016年時点でも未整備であることを指摘する。

### 第3章 2020年東京オリンピックの競技会場

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会によると、2020年開催予定の東京オリンピックの競技会場は2016年12月時点では、つぎのような予定になっている。

#### 新国立競技場（オリンピックスタジアム）

新国立競技場（オリンピックスタジアム）は、2020年（平成32年）に開催される2020年東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場となる予定である。2014年夏季に解体開始、2015年秋頃に建替着工、2019年に竣工を予定した。これに伴い、敷地内のJSC本部の建物（一旦仮事務所へ）と南に隣接する日本青年館（原宿の岸記念体育会館を移転させる案もあった）を解体し、両者を一体化したビルを作る計画も決定した。

#### 東京体育館

東京体育館は、1964年大会時に、メインアリーナで体操競技、屋内プールで水球が開催した。1964年のオリンピックレガシーを有する施設の1つである。現在、さまざまな世界大会など大規模な競技大会が開催される都内でも中核的な存在の体育館である。約10,000人を収容できるメインアリーナを有するほか、サブアリーナやプール、トレーニングルームなどを併設している。

#### 国立代々木競技場

国立代々木競技場は、1964年大会時に水泳とバスケットボールの競技会場として使用するため、日本を代表する建築家丹下健三氏によって設計された。高張力による吊り屋根に特徴があり、また多くのレリーフを有している。現在でもオリンピックレガシーとして高い評価を受けており、世界的にも有名である。この会場は、緑あふれる美しい明治神宮や、同じ1964年のオリンピックレガシーである代々木公園に隣接している。

#### 日本武道館

日本武道館は、柔道がオリンピック競技として初めて実施されたのは1964年大会であり、この施設はそのときの会場である。富士山の裾野をひくような流線美の大屋根を持つこの建物は、1964年のオリンピックレガシー施設の1つである。現在は、武道だけでなく、コンサートその他のイベントなど多目的に利用されている。

#### 東京国際フォーラム

東京国際フォーラムは、この施設は、総合的な文化活動の拠点、情報の交流と創造の拠点、国際交流の拠点という3つの機能をもつホールとして、1997年に開業した。集客性のすぐれたこの場所は、1991年の都庁の新宿移転まで、約一世紀にわたり東京都庁舎が存在し、

近・現代東京の行政の中心地であった。現在、コンサートやミュージカル、展示会など幅広く利用されている。この会場で実施されるオリンピック競技はウエイトリフティングである。

### 国技館

国技館は、日本の国技である相撲の聖地である。会場がすり鉢状になっており、観客は四方から中央の競技を観戦することができる。過去にプロボクシングのタイトルマッチを開催した実績もある施設である。この会場で実施されるオリンピック競技はボクシングである。

### 有明アリーナ

有明アリーナは、有明北地区に新しく整備されるアリーナである。10,000席を超える観客席のあるメインアリーナを有する施設として計画されている。大会後は、国際大会を含むスポーツ大会や各種イベントなどに利用できる新たなスポーツ・文化の拠点となる施設としていく予定である。この会場で実施されるオリンピック競技はバレーボールである。

### 有明体操競技場

有明体操競技場は、選手村やメディアセンターからも近いウォーターフロントエリアの有明北地区に計画されている。大会時には、約12,000人の客席数を有する体操専門競技場が仮設で整備される。この会場で実施されるオリンピック競技は体操である。

### 有明テニスの森

有明テニスの森は、緑に囲まれた敷地に屋外48面のテニスコートと「有明コロシアム」を備えているこのエリアは、日本のテニスの聖地と言われている。有明コロシアムは、全天候型コートとスライド式開閉屋根を備えた10,000人を収容できる多目的スタジアムである。テニスの国際大会や主要国内大会ほか、興行イベントなど幅広く利用している。

### お台場海浜公園

お台場海浜公園は、海と緑の自然とレインボーブリッジや都市型リゾートホテルなどの未来的景観が融合した日本屈指の観光スポットであるお台場にある公園である。台場公園（第3台場）の側に広がる静かな入り江を囲んで砂浜や磯がある。大会時には、競技のための仮設施設が整備される。この会場で実施されるオリンピック競技は水泳、トライアスロンである。

### 潮風公園

潮風公園は、お台場海浜公園と隣接した場所に位置していて大会時には、ビーチバレーボ

ールの競技会場が仮設で整備される。

### **大井ホッケー競技場**

大井ホッケー競技場は、大井ふ頭中央海浜公園に新しく整備される施設である。ホッケー競技に加え、フットサルなどにも使える多目的グラウンドとして活用される施設になると見込まれている。都内有数の多目的人工芝競技場として、ホッケーその他の競技の拠点となる予定である。

### **海の森クロスカントリーコース**

海の森クロスカントリーコースは、大会時には、馬術のクロスカントリーコースが仮設で整備される。大会終了後は、「海の森」として都民の憩いの場として利用される。

### **海の森水上競技場**

海の森水上競技場は、東京港中央防波堤内側及び外側埋立地間の水路に新しく整備される施設である。この場所は、豊かな緑で覆われた埋立地で、東京湾のすばらしい眺めとドラマチックな都市景観を一度に楽しむことができる。国際大会が開催できるボート・カヌーの競技場及び育成・強化の拠点とするほか、多面的な水面利用を図り、都民のレクリエーションの場、憩いの場としていきる。

### **カヌー・スラローム会場**

カヌー・スラローム会場は、都立葛西臨海公園の隣接都有地に新しく整備される施設である。水路に人工的に流れを作り出し、競技を実施することができる国内で初めてのカヌー・スラロームコースである。

### **アーチェリー会場（夢の島公園）**

アーチェリー会場（夢の島公園）は、夢の島エリアに新しく整備される施設である。アーチェリーを中心に、都民・公園利用者に対し、様々なスポーツの機会を提供する施設としていく予定である。

### **オリンピックアクアティクスセンター**

オリンピックアクアティクスセンターは、都立辰巳の森海浜公園に新しく整備される施設である。観客席数について、大会後は5,000人規模に縮小することをあらかじめ想定した上で、大会時には20,000人の観客が観戦できるように計画されている。

### **東京辰巳国際水泳場**

東京辰巳国際水泳場は、東京都における水泳の中心的・象徴的施設としての役割を担う全

神 雄基「東京オリンピックとインフラ整備」  
(2017年1月10日提出 ゼミ卒業論文)

都・広域的な専門施設として設置された。水泳の普及振興を図り、都民の健康づくりや競技スポーツの発展に寄与することを目的として、1993年に開業した。約5,000席の観客席を有しており、全国規模の大会などが多数開催されている。

### **武蔵野の森総合スポーツ施設**

武蔵野の森総合スポーツ施設は、東京スタジアムに隣接する場所に新しく整備される総合スポーツ施設である。大規模なスポーツ大会やイベント興行が開催可能な施設として計画されている。約4,800㎡のメインアリーナのほかにサブアリーナ、プール、トレーニングルームなどを併設している。この会場で実施されるオリンピック競技はバドミントン、フェンシングである。

### **東京スタジアム**

東京スタジアムは、この競技場は、サッカーをはじめ、多彩なイベントに利用されている多目的スタジアムである。2013年に開催された国民体育大会「スポーツ祭東京2013」では、開会式・閉会式などにも使用された。観客席が約50,000席もある大規模スタジアムである。この会場で実施されるオリンピック競技はサッカー、近代五種（水泳、馬術、ランニング、射撃）、7人制ラグビーである。

### **さいたまスーパーアリーナ**

さいたまスーパーアリーナは、スポーツイベント、コンサート、講演会などさまざまな用途に対応した国内最大級の多目的ホールである。2000年に開業した。約9,000席の観客席が移動するムービングブロックが特徴の施設であり、最大37,000席を使用できる。

### **幕張メッセ**

幕張メッセは、Aホールでは、オリンピック競技のテコンドー、レスリング、パラリンピック競技のシッティングバレーボールが開催される。Bホールでは、オリンピック競技のフェンシング、パラリンピック競技のテコンドー、車いすフェンシングが開催される。Cホールでは、パラリンピック競技のゴールボールが開催される。

### **江の島ヨットハーバー**

江の島ヨットハーバーは、1964年大会時にセーリング会場として使用するため、日本で初めての競技用ハーバーとして整備された。1年を通じて気候が温かな地域であるため、数々のヨットレースが開催される国内有数の施設である。

### **伊豆ベロドローム**

伊豆ベロドロームは、国際自転車競技連合（UCI）規格の周長250m木製走路を有する屋

神 雄基「東京オリンピックとインフラ整備」  
(2017年1月10日提出 ゼミ卒業論文)

内型自転車トラック競技施設として2011年に開業した。全日本選手権自転車競技大会トラック・レースなど多くの国内主要大会で使用されている。

### 伊豆マウンテンバイクコース

伊豆マウンテンバイクコースは、このマウンテンバイクコースは、全長2,500m、高低差85mのオフロードコースである。初級者から上級者までが利用できるよう、エリアやルートが分かれている。このコースでは、全日本選手権大会なども開催されている。

### 選手村

選手村は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村は中央区晴海に計画されており、住宅棟については、選手の宿泊施設として一時使用した後に住居等として生まれ変わる計画となっている。東京都では、多様な人々が交流し、快適に暮らせるまちづくりを目指して、「選手村 大会終了後における住宅棟のモデルプラン」をとりまとめ、整備に取り組んでいる。

### IBC/MPC (東京ビッグサイト)

IBC/MPC (東京ビッグサイト) は、日本最大の展示面積を誇る日本最大のコンベンションセンターで、1996年に開業した。延べ床面積は、230,000平方メートルにおよび、日本を代表する様々な催しが開催されている。大会までに、さらに20,000平方メートル程度増築される予定である。

## 第4章 2020年東京オリンピック開催に向けてのインフラ整備

ここで、2020年東京オリンピック開催に向けてのインフラ整備は、2016年12月時点ではまだ計画が確定していないものがあるが、その課題は、1964年東京オリンピックの際には整備できなかった点を整備する、第3章で紹介した競技場をむすぶ交通網の整備が必要であることを指摘する。

### 参考文献

ウィキペディア(2016年9月29日)「駒沢オリンピック公園総合運動場体育館-Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A7%92%E6%B2%A2%E3%82%AA%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF%E5%85%AC%E5%9C%92%E7%B7%8F%E5%90%88%E9%81%8B%E5%8B%95%E5%A0%B4%E4%BD%93%E8%82%B2%E9%A4%A8>

ウィキペディア(2016年10月1日)「秩父宮ラグビー場-Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A7%A9%E7%88%B6%E5%AE%AE%E3%83%A9%E3%82%B0%E3%83%93%E3%83%BC%E5%A0%B4>

ウィキペディア(2016年11月2日)「渋谷公会堂-Wikipedia」、

神 雄基「東京オリンピックとインフラ整備」  
(2017年1月10日提出 ゼミ卒業論文)

- <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B8%8B%E8%B0%B7%E5%85%AC%E4%BC%9A%E5%A0%82>  
ウィキペディア (2016年11月9日)「国立霞ヶ丘陸上競技場 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9B%BD%E7%AB%8B%E9%9C%9E%E3%83%B6%E4%B8%98%E9%99%B8%E4%B8%8A%E7%AB%B6%E6%8A%80%E5%A0%B4>
- ウィキペディア (2016年11月29日)「国立代々木競技場 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9B%BD%E7%AB%8B%E4%BB%A3%E3%80%85%E6%9C%A8%E7%AB%B6%E6%8A%80%E5%A0%B4#.E7.AC.AC.E4.B8.80.E4.BD.93.E8.82.B2.E9.A4.A8>
- ウィキペディア (2016年11月12日)「駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場 - Wikipedia」  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A7%92%E6%B2%A2%E3%82%AA%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF%E5%85%AC%E5%9C%92%E7%B7%8F%E5%90%88%E9%81%8B%E5%8B%95%E5%A0%B4%E9%99%B8%E4%B8%8A%E7%AB%B6%E6%8A%80%E5%A0%B4>
- ウィキペディア (2016年11月9日)「東京体育館 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E4%BD%93%E8%82%B2%E9%A4%A8>
- ウィキペディア (2016年11月10日)「東京ドームシティ - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E3%83%89%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%82%B7%E3%83%86%E3%82%A3>
- ウィキペディア (2016年12月12日)「日本武道館 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E6%AD%A6%E9%81%93%E9%A4%A8>
- ウィキペディア (2016年12月13日)「馬事公苑 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A6%AC%E4%BA%8B%E5%85%AC%E8%8B%91>
- ウィキペディア (2016年12月10日)「八王子自転車競技場 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%85%AB%E7%8E%8B%E5%AD%90%E8%87%AA%E8%BB%A2%E8%BB%8A%E7%AB%B6%E6%8A%80%E5%A0%B4>
- ウィキペディア (2016年9月5日)「横浜文化体育館 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A8%AA%E6%B5%9C%E6%96%87%E5%8C%96%E4%BD%93%E8%82%B2%E9%A4%A8>
- ウィキペディア (2016年9月16日)「三ツ沢公園球技場 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%89%E3%83%84%E6%B2%A2%E5%85%AC%E5%9C%92%E7%90%83%E6%8A%80%E5%A0%B4>
- ウィキペディア (2016年4月22日)「相模湖 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%9B%B8%E6%A8%A1%E6%B9%96>
- ウィキペディア (2016年12月2日)「湘南港 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B9%98%E5%8D%97%E6%B8%AF>
- ウィキペディア (2016年12月14日)「戸田漕艇場 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%88%B8%E7%94%B0%E6%BC%95%E8%89%87%E5%A0%B4>

神 雄基「東京オリンピックとインフラ整備」  
(2017年1月10日提出 ゼミ卒業論文)

ウィキペディア(2016年10月3日)「さいたま市大宮公園サッカー場-Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%95%E3%81%84%E3%81%9F%E3%81%BE%E5%B8%82%E5%A4%A7%E5%AE%AE%E5%85%AC%E5%9C%92%E3%82%B5%E3%83%83%E3%82%AB%E3%83%BC%E5%A0%B4>

公益財団法人日本オリンピック委員会(更新年不明)「所沢クレール射撃場」、  
[http://www.joc.or.jp/past\\_games/tokyo1964/memorialplace/22.html](http://www.joc.or.jp/past_games/tokyo1964/memorialplace/22.html)

ウィキペディア(2016年12月7日)「東京大学検見川総合運動場-Wikipedia」  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E6%A4%9C%E8%A6%8B%E5%B7%9D%E7%B7%8F%E5%90%88%E9%81%8B%E5%8B%95%E5%A0%B4>

ウィキペディア(2016年12月10日)「環状3号線 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%92%B0%E7%8A%B6%E5%8F%B7%E7%B7%9A>

ウィキペディア(2016年12月20日)「環状4号線 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD%E5%B8%82%E8%A8%88%E7%94%BB%E9%81%93%E8%B7%AF%E5%B9%B9%E7%B7%9A%E8%A1%97%E8%B7%AF%E7%92%B0%E7%8A%B6%E7%AC%AC%E5%8F%B7%E7%B7%9A>

ウィキペディア(2016年12月10日)「環状5号線 - Wikipedia」、  
[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%98%8E%E6%B2%BB%E9%80%9A%E3%82%8A\\_\(%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD\)#cite\\_note-FOOTNOTE.E3.83.AD.E3.83.A0.E3.83.BB.E3.82.A4.E3.83.B3.E3.82.BF.E3.83.BC.E3.83.8A.E3.82.B7.E3.83.A7.E3.83.8A.E3.83.AB.EF.BC.88.E7.B7.A8.EF.BC.89200531-4](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%98%8E%E6%B2%BB%E9%80%9A%E3%82%8A_(%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD)#cite_note-FOOTNOTE.E3.83.AD.E3.83.A0.E3.83.BB.E3.82.A4.E3.83.B3.E3.82.BF.E3.83.BC.E3.83.8A.E3.82.B7.E3.83.A7.E3.83.8A.E3.83.AB.EF.BC.88.E7.B7.A8.EF.BC.89200531-4)

ウィキペディア(2016年6月11日)「環状8号線 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD%E9%81%93311%E5%8F%B7%E7%92%B0%E7%8A%B6%E5%85%AB%E5%8F%B7%E7%B7%9A>

ウィキペディア(2016年12月14日)「環状7号線 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD%E9%81%93318%E5%8F%B7%E7%92%B0%E7%8A%B6%E4%B8%83%E5%8F%B7%E7%B7%9A>

ウィキペディア(2016年12月31日)「国道246号線 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9B%BD%E9%81%93246%E5%8F%B7>

ウィキペディア(2016年9月15日)「六本木通り - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD%E9%81%93412%E5%8F%B7%E9%9C%9E%E3%83%B6%E9%96%A2%E6%B8%8B%E8%B0%B7%E7%B7%9A>

ウィキペディア(2016年9月25日)「都道413号線 - Wikipedia」、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD%E9%81%93413%E5%8F%B7%E8%B5%A4%E5%9D%82%E6%9D%89%E4%B8%A6%E7%B7%9A>

ウィキペディア(2017年1月3日)「新国立競技場 - Wikipedia」

神 雄基「東京オリンピックとインフラ整備」  
(2017年1月10日提出 ゼミ卒業論文)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%96%B0%E5%9B%BD%E7%AB%8B%E7%AB%B6%E6%8A%80%E5%A0%B4>

ウィキペディア (2017年1月5日)「環状6号線 -Wikipedia」、  
[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD%E9%81%93317%E5%8F%B7%E7%92%B0%E7%8A%B6%E5%85%AD%E5%8F%B7%E7%B7%9A#cite\\_note-1](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD%E9%81%93317%E5%8F%B7%E7%92%B0%E7%8A%B6%E5%85%AD%E5%8F%B7%E7%B7%9A#cite_note-1)

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：IBC/MPC (東京ビッグサイト) | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」、

<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/ibc-mpc/>、2017年1月6日閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：アーチェリー会場 (夢の島公園) | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」、

<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/dream-island-archery-field/>、2017年1月6日

閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：有明アリーナ | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」

<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/ariake-arena/>、2017年1月6日閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：有明体操競技場 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」

<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/olympic-gymnastic-centre/>、2017年1月6日

閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：有明テニスの森 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」

<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/ariake-tennis-park/>、2017年1月6日閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：伊豆ベロドローム | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」

<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/izu-velodrome/>、2017年1月6日閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：伊豆マウンテンバイクコース | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」

<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/izu-mountainbike-course/>、2017年1月6日

閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：海の森クロスカントリーコース | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」

<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/sea-forest-cross-country-course/>、2017年1月6

日

閱

覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：海の森水上競技場 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」

<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/sea-forest-waterway/>、2017年1月6日閲覧

神 雄基「東京オリンピックとインフラ整備」  
(2017年1月10日提出 ゼミ卒業論文)

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：江の島ヨット  
ハーバー | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/enoshima-yacht-harbour/>、2017年1月6日閲  
覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：大井ホッケー  
競技場 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/seaside-park-hockey-stadium/>、2017年1月6  
日 覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：お台場海浜公  
園 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/odaiba-marine-park/>、2017年1月6日閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：オリンピック  
アクアティクスセンター | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/olympic-aquatics-centre/>、2017年1月6日閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：カヌー・スラ  
ローム会場 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/canoe-slalom-venue/>、2017年1月6日閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：さいたまスー  
パーアリーナ | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/saitama-super-arena/>、2017年1月6日閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：国技館 | 東京  
オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/kokugikan-arena/>、2017年1月6日閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：国立代々木競  
技場 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/yoyogi-national-stadium/>、2017年1月6日閲  
覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：潮風公園 | 東  
京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/shiokaze-park/>、2017年1月6日閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：選手村 | 東京  
オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/olympic-village/>、2017年1月6日閲覧

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：東京国際フォ  
ーラム | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/tokyo-international-forum/>、2017年1月6日閲

神 雄基「東京オリンピックとインフラ整備」  
(2017年1月10日提出 ゼミ卒業論文)

## 覧

- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：東京スタジアム | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/tokyo-stadium/>、2017年1月6日閲覧
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：東京体育館 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/tokyo-metropolitan-gymnasium/>、2016年12月20日閲覧
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：東京辰巳国際水泳場 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/tatsumi-international-swimming-centre/>、2017年1月6日閲覧
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：日本武道館 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/nippon-budokan/>、2017年1月6日閲覧
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：幕張メッセ | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/makuhari-messe/>、2017年1月6日閲覧
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「会場：武蔵野の森総合スポーツ施設 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/venue/musashino-forest-sport-centre/>、2017年1月6日閲覧
- (公益財団法人)日本オリンピック委員会(更新年不明)「朝霞射撃場」、  
[http://www.joc.or.jp/past\\_games/tokyo1964/memorialplace/20.html](http://www.joc.or.jp/past_games/tokyo1964/memorialplace/20.html)、2017年1月6日閲覧
- (公益財団法人)日本オリンピック委員会(更新年不明)「軽井沢総合馬術競技場」、  
[http://www.joc.or.jp/past\\_games/tokyo1964/memorialplace/25.html](http://www.joc.or.jp/past_games/tokyo1964/memorialplace/25.html)、2017年1月6日閲覧
- (公益財団法人)日本オリンピック委員会(更新年不明)「早稲田大学記念会堂」  
[http://www.joc.or.jp/past\\_games/tokyo1964/memorialplace/11.html](http://www.joc.or.jp/past_games/tokyo1964/memorialplace/11.html)、2017年1月6日閲覧